

学生のアクティビティ②

広報アテンダント、始動!

こんにちは! 広報アテンダントです。と名乗ってはみたものの、皆さんは広報アテンダントをご存知でしょうか? 広報アテンダントは、「大学広報のお仕事を体験する中で、『情報発信力』『問題解決力』『おもてなしの心』を身に付ける」という目標の下、今年の5月より活動を始めました。お茶大広報チームの方々や先生方のお力を借りながら、様々な形で学び、活動しています。

今号では、その幅広い活動内容をご紹介しますと思います。

広報アテンダントの活動内容

私たちは「大学の顔」として活動するために、ほぼ毎月各分野のスペシャリストをお招きして講習を受けています。最初の勉強会で前日本口レアル副社長にして本学学長特命補佐の坪田秀子先生から広報の基本を教わり、学生の立場から世の中にお茶大の魅力を伝えるための方法を学びました。本学のグッズを手がけるデザイナーの

伊藤透さんからはグッズの企画に関する基礎知識を、そしてセルフコーチングコンサルタントの早川優子さんからはキャンパスツアーに向けたマナー研修を受けました。



・勉強会・

ここで紹介するキャンパスツアーや、次ページで紹介する大学グッズの企画は、これらの学習の成果であるとともに、学生ならではの視点や発想を大切に活動です。発足したばかりなので試行錯誤の連続ですが、学んだことを実際に活かせるこの活動は、教わったことをただアウトプットするだけではなく、お茶大の魅力をど

う伝えるべきか、自分なりの答えを見つける作業でもあります。この勉強会は、今後ますます多岐にわたる広報アテンダントの活動の礎となることでしょう。

広報アテンダントとして、お茶大キャンパス内の各施設を、小中高生やその親御さんに説明しながら回ります。

歩くペースのばらばらな大人数の誘導、説明し始めるタイミングなどが難しく大変でした。しかも、来訪者にとって、広報アテンダントの態度はそのままお茶大生のイメージに結びつきます。そのプ



・キャンパスツアー・

レッシャーを感じつつ、笑顔を決やさず声のトーンを高く保ち、明るく見せようなど、気をつける点がたくさんあり

ました。勉強会のマナー講習で学んだことが活かされたと思います。

また、自分の学ぶお茶大の良さを直接伝えられる楽しさは大きかったです。最後にお茶大や学生生活、受験の不安などを質問・相談してくれたときも嬉しく、大学生の先輩として自分の成功体験や失敗談が受験生の参考に

なることの喜びも多々感じました。

・文教育学部写真モデル・

大学案内のための写真モデルをしました。数名で図書室の机に座って、教科書や本、PCを広げ談笑しながら勉強する様子を撮影しました。友達と視線を合わせっぱなしだったので気恥ずかしかったり、カメラへの体の角度の取り方、自然な笑顔で、笑いすぎないようにしたりなど、細かい点が意外と難しかったです。



昨年好評だった
タンブラーに引き続
ぎ、今年も新しい大学
グッズを徽音祭にて販売
します。徽音祭で販売され
る大学グッズは、私たち広
報アテンダントが企画立案
から販売まで手掛けたも
のです。

グッズ開発が始動した
のは、梅雨明けが間近と
なった6月。1ヶ月後に設
けられたプレゼンテーションに向け、広報アテンダント全7チーム
が新たな大学グッズを提案することとなりました。

徽音祭で販売されるということで、学内生だけではなく、来学さ
れる多くの方々の手に取っていただけるよう、各チーム念入りな
ミーティングを重ねプレゼンテーションに備えました。

実用性はあるかな。デザインはどうしよう、可愛いのがいいね。
でも、なによりもきちんと使ってもらえるだろうか…。ターゲット
は？ 販売時期も考えないと…。

オープンキャンパスに来学した高校生にアンケートをとったり、
製品を作っている会社に問い合わせをしたり、よりよいグッズを企
画しようと試行錯誤しました。各
チームが大変忙しい1ヶ月を過ご
したように思います。

プレゼンテーション当日は、広
報チームや生協の方だけでな
く、デザイナーの伊藤透さ
んや勉強会でもお世話



新☆大学グッズ 製作の裏側

になっている坪
田秀子先生をお招き
し、発表を行いました。
各チームが各自の提案
する新グッズの良さをア
ピールするため、様々な工
夫を凝らした発表を行い、
とても興味深い時間となり
ました。

パワーポイントに画像
を載せてイメージしやすく
したり、シヤレや小芝居を

取り入れてみたり…。実際に実物を見てもらえれば簡単ですが、言
葉で説明するとなると表現が難しいもの。聞き手に分かりやすく伝
え、理解してもらうことの大変さを実感しました。

一方で、企画することの楽しさに気付いたという声もあり、就職
活動をする上で企画職への関心が湧いたという学生もいました。
時間が限られた中での企画でしたが、多くのことを学ぶことが出来
ました。また、将来への視野も広がり、一言では言い表せない素敵
な経験でもありました。

今回はグッズ企画という広報の一面に携わりましたが、勉強会を
始めて広報とは奥の深いものだ実感しています。

現在、ブックカバー・マイ箸・バッ
グハンガー・弁当箱が商品化され、
PRに向けて活動中です。徽音祭で
より多くの方のお手に取って
いただけるよう、今後の広報活
動にも力を入れていきます。



～ 最後に ～

GAZETTEの「学生のアクティビティ」ページは、これからは、私たち広報アテンダントが
執筆していきます。読者の皆さまに今後ともお付き合いいただくにあたり、まずは自己紹介
の意味を込めて、広報アテンダントの紹介をさせていただきました。

9月に7年後の東京オリンピックの開催が決まりましたが、招致委員や選手といった方々による
プレゼンテーションなど、その招致活動にも大きな注目が集まりました。広報活動の力を
目の当たりにしたニュースでした。

私たち広報アテンダントも、学生の視点を活かしながら、より効果的に、より広く、「お茶大」
を発信していきたいと思えます。GAZETTEに留まらず様々な媒体を使いながら、学生の
生の声を伝えていきます。

今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

学生のアクティビティ②